

令和6年度職員提案個別票（受付番号：令和6－1）①

件名 カスタマーハラスメント対策啓発ポスターの掲示について

課題

カスタマーハラスメントによる影響は、次のとおり考えられます。

- ・職員の業務パフォーマンスの低下や体調不良
- ・対応に伴う時間の浪費、業務上の支障、他の来庁者への悪影響（市イメージ低下）

また、令和元年6月に、労働施策総合推進法等が改正され、職場におけるパワーハラスメント防止のために雇用管理上必要な措置を講じることが事業主の義務となり、令和2年1月に、「事業主が職場における優越的な関係を背景とした言動に起因する問題に関して雇用管理上講ずべき措置等についての指針」（令和2年厚生労働省告示第5号）が策定され、顧客等からの暴行、脅迫、ひどい暴言、不当な要求等の著しい迷惑行為（カスタマーハラスメント）に関して、事業主は、相談に応じ、適切に対応するための体制の整備や被害者への配慮の取組を行うことが望ましい旨、また、被害を防止するための取組を行うことが有効である旨が定められています。

提案内容

カスタマーハラスメント対策啓発ポスターを庁内に掲示する。
（参考）東海大学医学部附属病院の掲示物
厚生労働省カスタマーハラスメント対策啓発ポスター
高知県、高知労働局カスタマーハラスメント対策啓発ポスター

予想される効果

カスタマーハラスメント件数の減少や要求程度が軽減され、職員の業務効率が上がる。

表彰基準	所見
努力賞	実施すべき

令和 6 年度職員提案個別票（受付番号：令和 6－2）①

件 名 ウェブメールの宛先欄への課名登録及びWindow機能の有効化について

課題

- ①ウェブメールを他課に転送したい際、他課のメールアドレスをデスクネッツから探し出し、それをコピーツールでコピーして宛先へ追加しているが時間と手間がかかる。
- ②資料作成時など、画面のキャプチャを撮影して貼り付けたい場合に、いちいちSnipping Toolを起動してキャプチャを撮影し、それをコピーして使用しなければならない
- ③デスクネッツの付箋機能は、デスクネッツ表示時しか表示できないなど使い勝手が悪く、デスクトップのメモとして活用しにくい。

提案内容

- ①ウェブメールの宛先欄に課名を入力すれば自動で他課のアドレスが表示されるように設定してほしい。
- ②「Shift」+「Windowsキー」+「S」のショートカットを有効にしてほしい
- ③Windows「付箋」を有効にしてほしい

予想される効果

・業務の効率化

表彰基準	所見
努力賞	一部実施すべき

令和 6 年度職員提案個別票（受付番号：令和 6－4）①

件 名 通年クールビズの採用

課題

現行は5月1日から10月31日までクールビズ期間として軽装が認められているが、3月や4月に高温となる日も度々あり、庁舎内の室温も高温となることがあるため体温調節が難しいという課題がある。環境省、神奈川県、茅ヶ崎市、秦野市でも通年でのクールビズの導入及びその動きがあることから伊勢原市においても導入は可能と考える。

提案内容

クールビズの期間を5月～10月ではなく、通年とする。

予想される
効果

日々の気温に合わせて個々人での体調管理がしやすくなることと、ノーネクタイ等の軽装による業務能率の向上。軽装にすることにより、エアコン等空調運転の時間を縮減することによる省エネが予想される。

表彰基準

所見

努力賞

実施すべき

令和 6 年度職員提案個別票（受付番号：令和 6－5）①

件 名 他部署の先輩職員とのメンター制度の導入

課
題

新たに職員が採用される場合に4月採用であれば同期入庁者も多く相談相手に困らないと思うが、7月採用、10月採用、経験者採用、専門職採用の場合はもともとの同期の人数も少なく配属された部署内では同世代の職員がおらず、周囲に相談しにくい環境も想定される。

提
案
内
容

他部署の先輩職員とのメンター制度を導入し、仕事以外のことも相談しやすい環境を構築する。すでに神戸市では導入されており、同様の制度を取り入れる。

予
想
さ
れ
る
効
果

同じ部署では気を遣ってしまい相談しにくいことも、他部署の職員であれば仕事はもとより、プライベートのことも相談することで精神的な負担を和らげることができる。

表彰基準

所見

努力賞

将来的検討

令和 6 年度職員提案個別票（受付番号：令和 6－6）①

件 名 バラエティに富んだ内容の市公式YouTube動画の作成について

課題

伊勢原市の公式Youtubeが開設されているが、更新頻度は多くなく、また再生回数も大きく伸びてはいないのが現状である。自治体のオフィシャルアカウントでは、真面目な内容を投稿することはもちろん大切であると思うが、そこに重点を置いてしまうとなかなか視聴者の関心は得られない。

提案内容

堅いテーマ以外の内容の動画の投稿を行う。例えば、長野県千曲市役所の運営するYoutubeサイトでは、伊勢原市よりも人口規模や登録者数も少ないが、公務員あるあるといった変わった視点からの発信により約1年間で10万回以上の再生回数を記録している。

予想される効果

どうしても自治体同士で似たり寄ったりになってしまいがちな内容から抜け出すことで、市の情報発信力を高めることができる。

表彰基準

所見

努力賞

実施に向け更に要検討

令和 6 年度職員提案個別票（受付番号：令和 6－8）①

件 名 手書きのクルリンの作成について

課
題

現在、市の公式ホームページや市民への郵送物や案内資料に公式イメージキャラクターのクルリンを掲載する際は、様々な種類のクルリンが広報戦略課によって用意されているがいずれもデジタル様式のものである。これを、例えば職員が手書きで描いたクルリンも用意すればそれぞれの個性や趣も感じられる。

提
案
内
容

各所属で掲載するクルリンのバリエーションに職員が手書きで描いたクルリンも追加して使用できるようにする。広報戦略課職員のほか、描いてくれる職員を全庁的に募集する。

予
想
さ
れ
る
効
果

それぞれの職員の個性が引き出される他、このような形を取り入れることにより、見る人の興味を引きつけることにもつながる。

表彰基準

所見

努力賞

実施すべき

令和6年度職員提案個別票（受付番号：令和6－10）①

件名 市が所管する審議会、協議会の議事録の整理

課題

市が所管もしくは担当課となっている審議会、審査会、協議会がおよそ60弱あり、会議録の作成ありとなっているものも多いが、会議実施後に速やかに作成及び公開されている審議会等と長期間会議録が更新されていない審議会等が混在している。また、担当課で会議録を作成、更新していない場合にその進捗をチェックする方法が現在では確立されていない。

提案内容

経営企画課または各部ごとに、文書法制課が実施しているファイリングのように年単位で進捗状況のチェックを行う。なお、協議会の数がとても多いため経営企画課のみでの実施が困難である場合は、例えば総務部の各部署が担当している協議会の分は総務部内の任意の課がチェックを行い、市民生活部の各部署が担当している協議会の分は市民生活部内の任意の課が行うというような方法をとれば、業務自体の負担は分散可能。

予想される効果

会議を実施した後の会議録作成漏れの防止、会議録を迅速に公開することにより市民に対してタイムラグなく情報提供が行われる。

表彰基準

所見

努力賞

一部実施すべき

令和6年度職員提案個別票（受付番号：令和6－21）①

件名 災害時の公共施設の閉館基準の設定について

課題

近年の気候変動に伴い、「勢力を増す台風」「ゲリラ雷雨の頻発化」など、激しい気象現象が増加している感があります。一方、台風接近に伴う暴風警報など、激しい気象現象が予想され、内閣府防災担当や気象庁が「不要不急の外出の自粛」を呼びかけても、市の公共施設の中には開館を継続し、市民は通常どおり利用しており、閉館の基準が不明確です。
このような状況下で気象災害が発生した場合、施設利用者や従事する職員の安全確保が困難になることも想定されます。また、開館を継続することは、不要不急の外出の受け皿になっている場合もあります。

提案内容

災害時における公共施設の閉館基準を設定します。なお、趣味やレクリエーションを目的とした施設を、対象とします。
具体的には、気象庁の警戒レベルに合わせて、閉館基準を定めます。
(1) 警戒レベル3発令(高齢者等避難)
高齢者施設(阿夫利荘)、障がい者施設(障害福祉センター、児童発達支援センター)
子どもの施設(子ども科学館、児童館)
(2) 警戒レベル4発令(避難指示)
図書館、公民館、コミュニティセンター、スポーツ施設等
(避難所となっている施設は、防災機能へと切替)

予想される効果

気象災害が発生した際に、多くの施設利用者が滞在するリスクは減少します。
市民に対し、災害時は不要不急の外出を控えることへの意識付けにつながります。

表彰基準	所見
努力賞	将来的検討